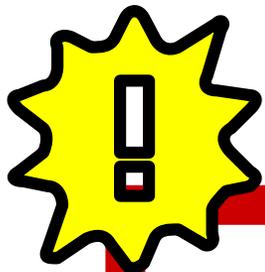


- 番外編 -

**ZOOM利用時に遵守すべき
セキュリティ強化のための設定**

**ミーティングを主催(ホスト)する場合は、
この資料をよく確認してください。**



この資料に記載するポイントは、報道等でも話題となっているZOOM荒らし（zoombombing）をはじめとする悪意のある第三者の侵入防止を含めた、セキュリティ強化のために遵守すべきものです。

内容を十分にご理解の上、適切な設定を実行してください。

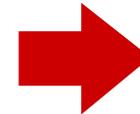
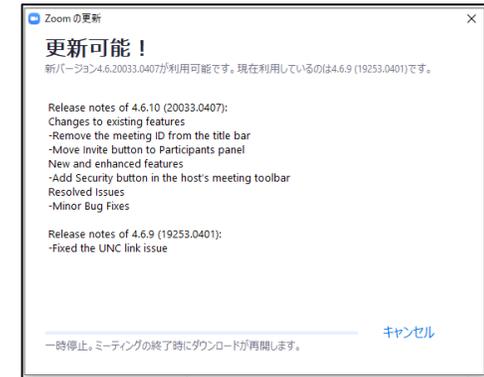
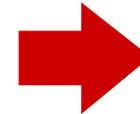
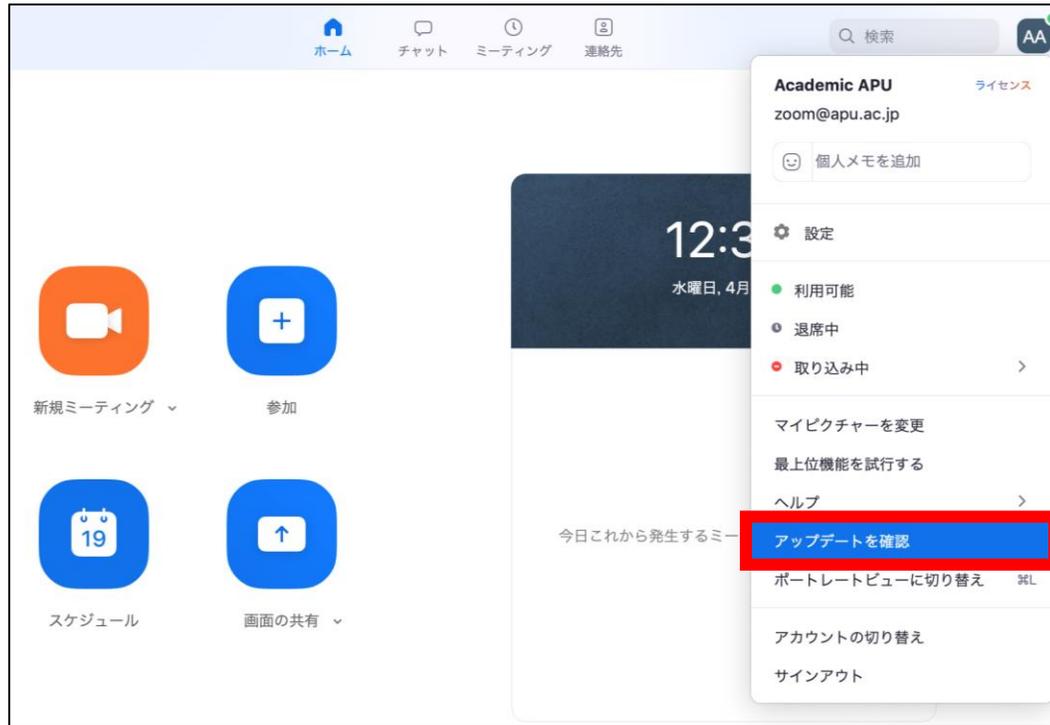
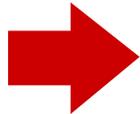
※ZOOM社ではセキュリティ強化が行われており、
予告なく機能が停止または制限されることがあることを予めご承知おきください。



【PART 1】
必須設定
Mandatory Settings

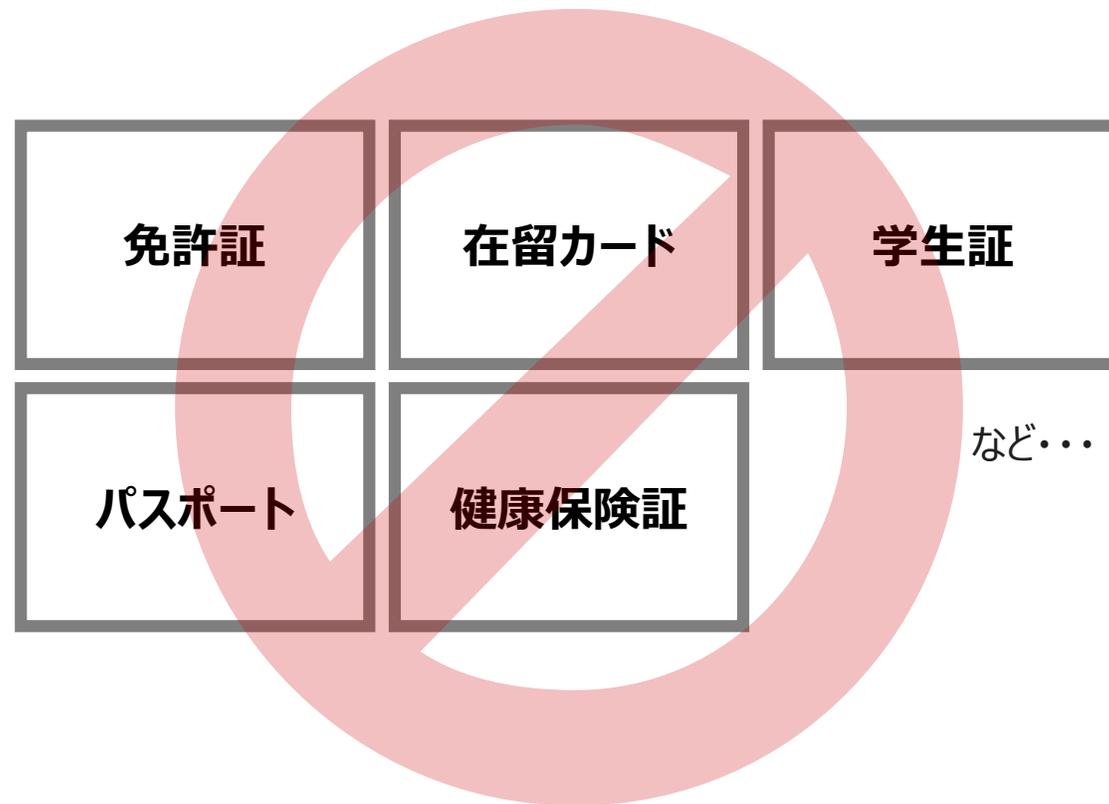
アプリケーションは常に最新版に更新する

ZOOMアプリケーションの更新は常に確認し、必ず最新状態にします。



個人情報に関する資料などは共有しない

個人情報に関する資料は共有しない。面談や面接などで本人確認が必要な場合には、ビデオをONにして、双方しか分からない情報で確認をする工夫をしてください。画面共有の場合には、情報漏洩が発生しないよう特に細心の注意を払ってください。



📌 「ホストの前の参加」を無効にする

(※この機能は、管理者権限により全ユーザーに対してロックしています)

この設定を無効にすることで、ミーティング開始前の乗っ取りを防止します。

1. 設定を確認



ホストの前の参加
参加者はホスト到着前にミーティングに参加することができます

OFFを確認

Locked by admin

この表示は管理者権限によりロックされていることを示します。変更することはできません。

管理者がこの設定をロックしているため、設定の変更はできません。あなたのミーティングはすべて、この設定を使用します。

2. ミーティング作成時に確認



チェックOFFを確認

ミーティングオプション

- ホストの前の参加を有効にする
- 入室時に参加者をミュートにする
- 待機室を有効にする
- 認証されているユーザーしか参加できません
- ブレークアウトルーム事前割り当て

鍵マークが付いているので、設定変更はできません。

📌 「待機室」を有効にする

(※この機能は、管理者権限により全ユーザーに対してロックしています)

この設定を有効にすることで、許可した参加者のみが入室できるようにします。

1. 設定を確認



待機室

各出席者は待機室でホストから承認を得ると、ミーティングに参加できるようになります。待機室を有効化すると、ホストの到着前に出席者がミーティングに参加できるオプションが自動的に無効化されます。🔒

ONを確認

Locked by admin

この表示は管理者権限によりロックされていることを示します。変更することはできません。

待合室に入れる参加者を選択してください。

- すべての参加者
- ゲストの参加者のみ ⓘ

この設定により、APU以外のゲストユーザーとAPUアカウントでサインインしていないユーザーは待合室に送られます。一方で、APUアカウントサインインしているユーザーは待合室に行くことなく、自動的に入室されます。次ページの『認証ユーザーしか参加できない』設定を有効にする」と合わせて利用することで、ほぼ確実にAPUアカウント以外の入室を防ぐことができます。

2. ミーティング作成時に確認



チェックONを確認

鍵マークが付いているので、設定変更はできません。

待機室を有効にする 🔒

- 認証されているユーザーしか参加できません
- ブレークアウトルーム事前割り当て



「認証ユーザーしか参加できない」設定を有効にする

この設定は常に有効化し、apu.ac.jpドメイン以外の入室を制限します

1.設定を確認

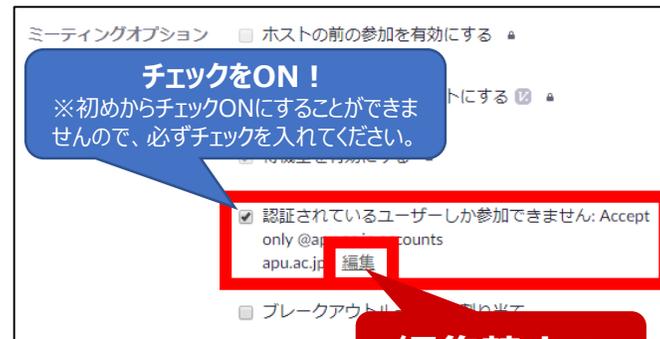


【注意】

この設定により、参加者はZOOMにサインインすることを求められ、APUドメインを持った人だけが入室できるようになります。これは、非常に重要な設定で、設定しない場合にはセキュリティ強度が相当落ちますので、必ず設定してください。

場合によっては、APUドメインを持たない人物の入室を許可しなければならないケースがあります。その場合はOFFとする代わりに、①事前登録制とすること、②パスワードを設定することを推奨します。

2.ミーティング作成時に確認

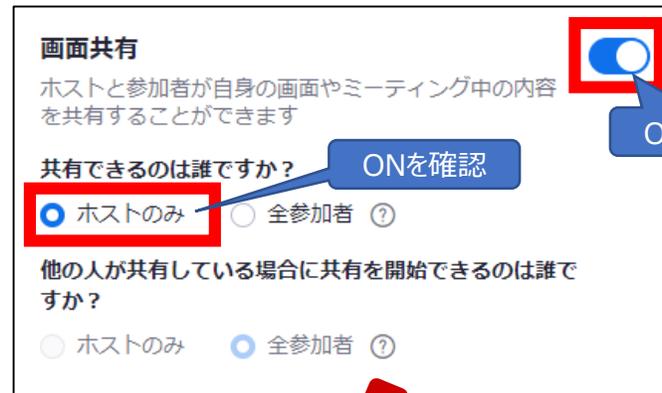




画面共有の「共有できるのは誰ですか？」はホストのみにする

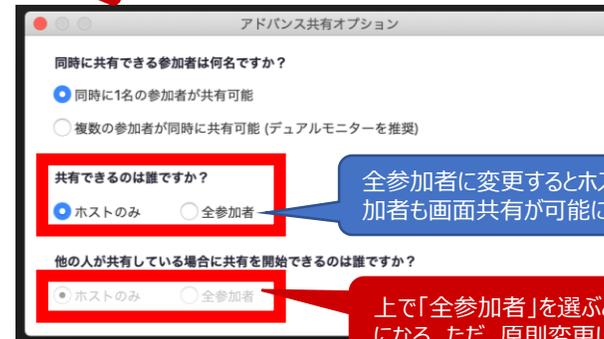
画面共有をホストに限定することで、他者が画面を乗っ取る可能性をなくします

1. 設定を確認



同じ設定になっている。

2. 画面共有時に確認





【PART 2】
強く推奨する設定
Strongly Recommended
Settings

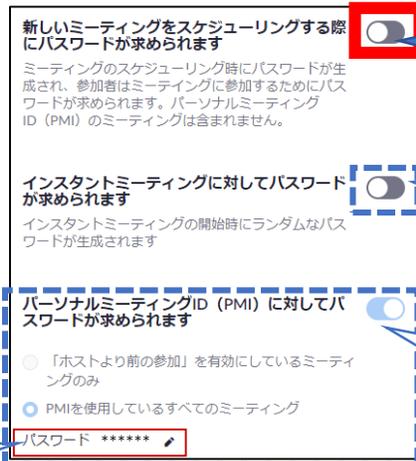
📌 ミーティングにはパスワードを設定する

ミーティングには、極力パスワードを設定します。
パスワードを知らない人物の入室を拒み、パスワードが漏れても入力の手間を与えます。

1. 設定を確認



パスワードはここで変更可能



ONを確認し、OFFにしないこと。パスワードが必須となるため、管理者権限でロックしていません。今後のセキュリティ状況により、ロックをかける可能性がありますので、ご承知おきください。

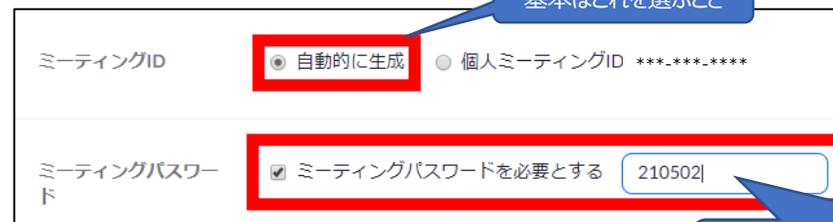
有効化できるセキュリティ設定が少ないため、原則としてインスタントミーティングの利用は控えてください。利用する場合には、必ず、ONに設定し、パスワードを設定してください。

ミーティングIDが固定であるため、パーソナルミーティング（個人ミーティング）は便利ですが、一方で狙われやすくなります。不特定多数が参加する場合には利用しないでください。また、利用の際には、必ずパスワードが必要となります。

2. ミーティング作成時に確認



基本はこれを選ぶこと

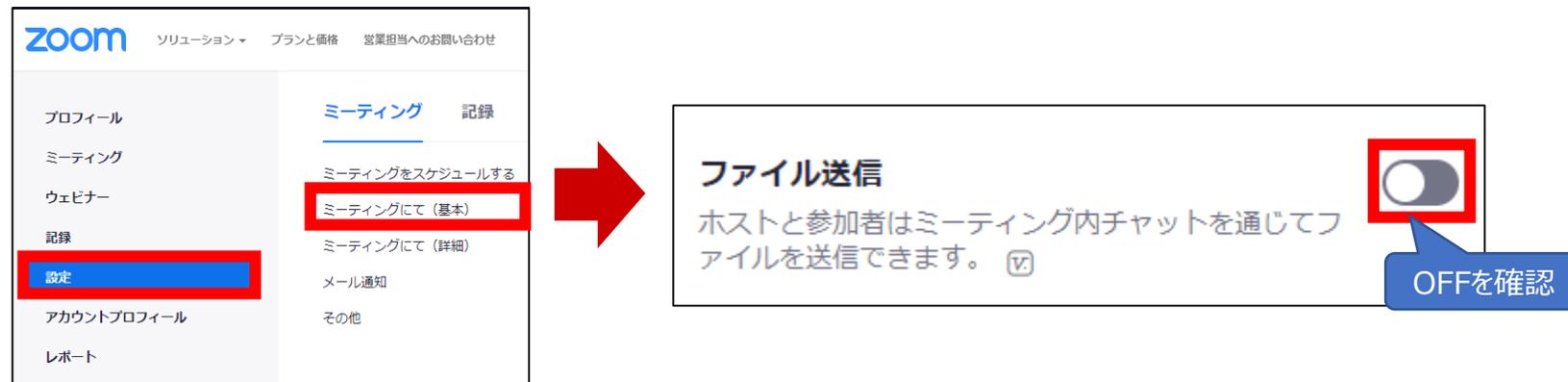


チェックをONにすると、パスワードが自動的に生成されますが、変更することもできます。

📌 チャット機能でのファイル送信をOFFにする

チャット機能でのファイル送信は便利ですが、不適切なファイルが共有されるリスクもあります。受信はPCのみ可能で、タブレット端末やスマートフォンでは受信できませんので注意が必要です。

また、チャットを使えば手軽にURLを共有でき便利ですが、接続先が「フィッシングサイト」である可能性もあるため、むやみにURLを共有したり、クリックしたりすることのないよう注意してください。



The image shows a screenshot of the Zoom web interface. On the left, the '設定' (Settings) menu is highlighted with a red box. A red arrow points from this menu to a detailed view of the 'ファイル送信' (File Sharing) settings. In this view, the toggle switch for 'ファイル送信' is turned off and highlighted with a red box. A blue callout box with the text 'OFFを確認' (Check OFF) points to the toggle switch. The text below the toggle reads: 'ホストと参加者はミーティング内チャットを通じてファイルを送信できます。' (Hosts and participants can send files through in-meeting chat.)



ミーティングはURLリンクではなくIDで知らせる

ミーティングはURLリンクで知らせると、ワンクリックで参加できるメリットがあります。ミーティングID（番号）を知らせることで、第三者に対して入力のひと手間を増やせます。また、身に覚えのないミーティングURLやIDはクリックをしないようにしてください。



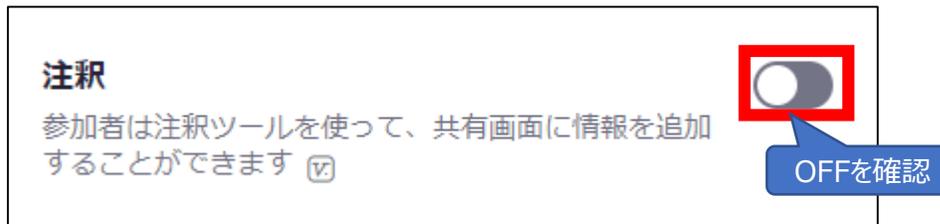


【PART 3】
その他の設定
Others

📌 「注釈」機能を無効にする

画面共有時の機能で、参加者で書き込みができるなど便利です。一方で、ミーティングを妨げる行為に発展する場合がありますので、不要な場合にはOFFにすることを推奨します。

1. 設定を確認



2. 画面共有時に確認



📌 「プライベートチャット」を無効にする

チャット機能の一つにあるプライベートチャットは、参加者間でチャットができる機能です。便利ですが、ミーティング中に隠れて会話をを行うことができるため、基本的には推奨はされません。

1. 設定から無効化



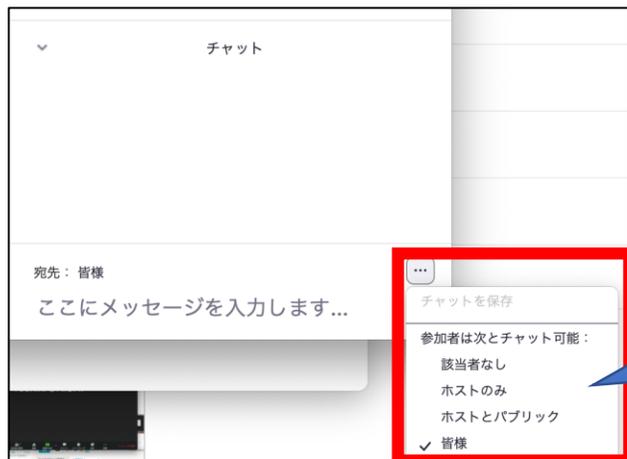
プライベートチャット

ミーティング参加者が別の参加者に1対1のプライベートメッセージを送信できるようになります。



OFFをにする

2. ミーティング中に無効化



この選択肢を変えることで無効化できます。

1. 該当者なし：チャット機能完全にOFF。ホスト→参加者全員（オープン） or個人宛には発信可。
2. ホストのみ：参加者は、ホストに対してのみ発信可。
3. ホストとパブリック：参加者は、ホストor参加者全員（オープン）に対してのみ発信可。
4. 皆様：3.に加えて、参加者同士のプライベートチャットが有効になる。